

ヒストグラムの記述例

都道府県別の農業に従事する就業者数について

平成 12 年における都道府県別の産業者別就業者数を用いて日本の農業就業者数について考える。表 1 は農業における基本統計量を算出した。この結果、農業についている就業者数は平均が 63.68 万人となった。これは他の産業に比べて就業者数が低いといえる。また変動係数は 0.5464 という値となった。これは他の産業に比べて小さい値を示していて、各都道府県のデータの散らばりは他の産業に比べて小さいということがわかる。また農業の就業者数の母平均に関する 95%信頼区間は[53.46, 73.90]となった。

また表 2 は各都道府県の農業就業者数に関する度数分布表である。度数分布表を作成するにあたっては階級幅を 20 として作成した。また図 1 はヒストグラムを作成した。これらを見ると 60 万人以下の就業者数である都道府県が全体の約 54%を占めていることがわかる。しかし 100 万人を超える就業者数である都道府県も 6 都道府県（北海道、福島、茨城、長野、静岡、愛知）あり、各都道府県の就業者数は全体的に平均よりも低いが一部の都道府県で多くの人が従事していることが分かる。これらのことから日本ではあまり農業は盛んではないが一部の地域で盛んに行われていると言える。

表 1 基本統計量

	農 業		
平均値	63.6809	標本標準偏差	34.7964
変動係数	0.5464	不偏分散	1210.7872
母平均の区間推定（信頼度 95%）			
下限値	53.4643	上限値	73.8974

表 2 度数分布表

階級	度数	相対度数	累積相対度数
20- 40	13	0.2826	0.2826
40- 60	12	0.2609	0.5435
60- 80	9	0.1957	0.7391
80-100	6	0.1304	0.8696
100-120	4	0.0870	0.9565
120-140	1	0.0217	0.9783
140-	1	0.0217	1.0000

